

令和8年度

ヤングケアラー相互ネットワーク
形成推進事業

参加費
無料

定員50名
事前申込制

こども家庭庁
補助事業

ヤングケアラー支援

交流会 (中国会場)

地域を越えるネットワークで、
支援を次のフェーズへ

日時

2026年11月24日 (火)

13:30-16:00

交流会 16:00~17:00

会場

国際ファミリープラザ 9階 シュシュ

(鳥取県米子市加茂町2丁目180) ※オンライン参加も可能

対象

自治体担当者／民間団体／福祉関係者／
ヤングケアラー支援に関心のある方

プログラム

- 1 インプットトーク ヤングケアラー支援の歴史・課題・政策 (こども家庭庁)
- 2 トークセッション1 気づきを、支える仕組み 実態把握と体制づくりの現在地
- 3 トークセッション2 ひとりで抱えない ケース対応と多機関連携のリアル
- 4 ワークショップ 参加者同士で小グループに分かれ、それぞれの地域の現状を持ち寄りながら、明日からの「次の一歩」を一緒に考えます。
- 5 交流会

ゲスト

幸重忠孝さん (NPO法人こどもソーシャルワークセンター理事長)

楊慧敏さん (県立広島大学保健福祉学部助教)

樋口智行さん (NPO法人コネクト・ワン法人本部SV)

北垣栄美子さん (伯耆町こども家庭センター参事)

中村幸一郎さん (子どもと親のサポートセンター主任)

宮本恭子さん (島根大学教授)

トーク1

トーク2

トーク1

トーク1

トーク2

トーク2

トーク1・2 コメンテーター

お申込み

右の二次元コードから (定員50名・先着／参加費無料)

[申込締切] 11月20日 (金)



お問い合わせ

N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社 藤吉・岸下

0859-30-4856 / info@my-nurse.jp

主催:N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社(こども家庭庁補助事業) 後援:鳥取ユネスコ協会



この事業について

ヤングケアラーは制度のはざままで気づかれにくく、支援は都道府県・市区町村・関係機関のどこか一か所では完結しません。自治体ごとに実態把握の段階も連携の形も異なり、経験を共有できる場が限られています。本事業は、地域を越えて担い手がつながり、事例とノウハウを共有できる関係をつくることを目的としています。

中国会場（鳥取・11/24）、四国会場（香川・11/27）での交流会をきっかけに、自治体・支援機関の皆さまへのオンライン伴走支援やポータルサイトの開設を通じて、地域を越えて支え合うネットワークづくりを進めていきます。

出合いを、ネットワークを、地域の実践力へ。

登壇者プロフィール

● 幸重 忠孝 さん

NPO法人こどもソーシャルワークセンター 理事長

社会福祉士。花園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。児童養護施設の指導員、大学専任講師等を経て、2008年からスクールソーシャルワークに従事。2018年にNPO法人こどもソーシャルワークセンターを設立し、初代理事長を務める。私立学校（滋賀県）スクールソーシャルワーカー、龍谷大学非常勤講師も兼任。著書に『まちの子どもソーシャルワーク』など。

● 楊 慧敏 さん

県立広島大学保健福祉学部助教

博士（社会福祉学）。社会福祉士、精神保健福祉士。高齢者福祉、介護、ヤングケアラーを専門とし、日本・中国・韓国ヤングケアラーの実態や支援体制について研究。自身のケア経験も踏まえ、当事者の声を大切にした支援のあり方や、地域・関係機関の連携について考えている。

● 樋口 智行 さん

特定認定NPO法人コネクト・ワン 法人本部SV（スーパーバイザー）
／山口県周南市ヤングケアラーコーディネーター

社会福祉士・保育士・介護福祉士・介護支援専門員（ケアマネ）。山口県岩国市出身、周南市在住。専門学校卒業後、21歳から36歳まで高齢者福祉事業（社会福祉法人）でデイサービス相談員・ケアマネ・特別養護老人ホーム相談員等を務め、37歳から41歳まで山口県光市社会福祉協議会生活支援係係長として生活困窮者支援事業・日常生活自立支援事業・法人後見事業等を担当。41歳より現職。市委託の児童育成支援拠点事業にも携わっている。

● 北垣 栄美子 さん

伯耆町福祉課子育て支援室（こども家庭センター） 参事

保健師。平成9年に伯耆町役場に入庁し、母子保健・精神保健・健康づくり等を担当。令和2年からは福祉課で家庭相談員・母子父子自立支援員を兼務し、障害相談・こども家庭相談（要保護児童対策地域協議会事務局含む）・ひとり親・DV関係相談・生活保護関係の相談業務に従事。令和6年にこども家庭ソーシャルワーカーを取得し、令和8年4月より現職。

● 中村 幸一郎 さん

やまぐち総合教育支援センター子どもと親のサポートセンター 主任

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士。スクールソーシャルワーカーとして、こどもや家庭への支援と教育・福祉の連携に取り組む。山口県ヤングケアラー支援に関する検討会議委員（令和4年～5年度）。山口県社会福祉士会スクールソーシャルワーク委員会委員長、山口県立大学非常勤講師を歴任。

● 宮本 恭子 さん（コメンテーター）

島根大学法文学部法経学科 教授／一般社団法人ヤングケアラーサロンネットワーク代表理事

博士（経済学）。保健師・助産師・看護師・介護支援専門員等の資格を持ち、ケア経済・社会保障政策の視点からヤングケアラー、社会的孤立、権利擁護支援などを研究テーマとする。島根県ヤングケアラー勉強会実行委員長をはじめ県の審議会委員を多数務め、年間約30件の講演活動を行う。著書に『日本社会の変容とヤングケアラーの生成—地域の実態調査から支援の方向性を考える』（晃洋書房、2025年）など。